

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBI TOPIX100・インデックスファンド<DC年金>」は、2025年5月27日に第23期決算を行いました。

当ファンドは、確定拠出年金法（2001年法律第88号）に基づく確定拠出年金制度のための専用ファンドとして、主にSBI TOPIX100・インデックス マザーファンド受益証券に投資し、TOPIX100・インデックス（配当込み）と連動する投資成果を目標として運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第23期末（2025年5月27日）

基準価額	27,559円
純資産総額	19,782百万円
第23期	
騰落率	0.6%
分配金（税込み）合計	0円

（注1）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

（注2）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

（注3）当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択 ⇒ 「目論見書・定期レポート等」を選択 ⇒ 「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

SBI TOPIX100・インデックスファンド<DC年金>

追加型投信／国内／株式／インデックス型

交付運用報告書

第23期（決算日：2025年5月27日）

作成対象期間（2024年5月28日～2025年5月27日）

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

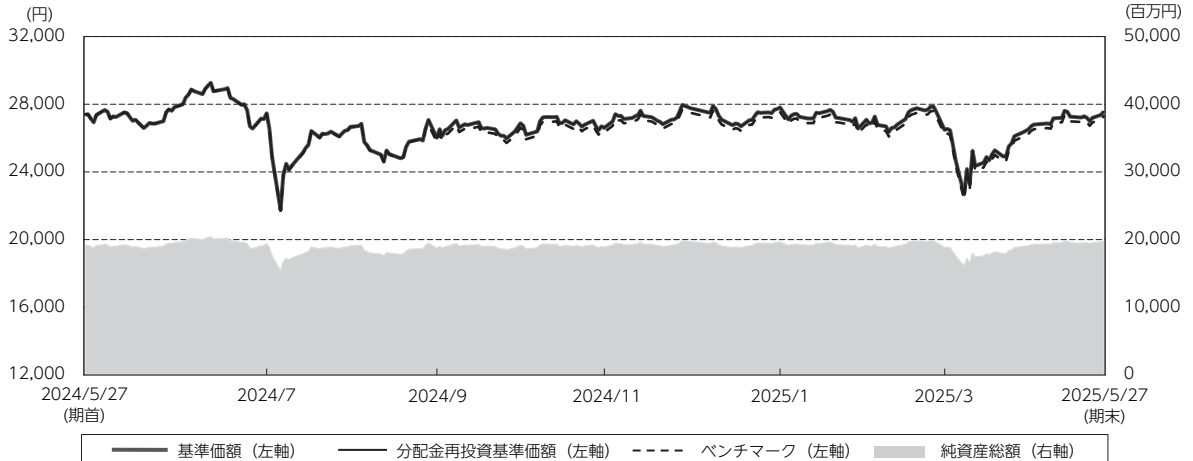
受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。
<https://www.sbiasset.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移

(2024年5月28日～2025年5月27日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額及びベンチマークは、期首（2024年5月27日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注4) ベンチマークはTOPIX100・インデックス（配当込み）です。詳細はP13をご参照ください。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・米国の関税問題の早期解決、企業活動への影響の低下
- ・米国の消費者物価指数（CPI）の伸び鈍化による米国金融政策の緩和への期待
- ・賃上げ、インバウンドなど国内景気の好調持続
- ・新たな少額投資非課税制度（NISA）の開始

下落要因

- ・米国の関税問題の長期化、企業活動への悪影響の増大
- ・米国のインフレ率高止まりによる米連邦準備制度理事会（FRB）の利下げ期待の後退
- ・中国景気の低迷による世界的な需要不足への懸念
- ・ウクライナ情勢、中東情勢の緊迫化により、リスク回避が強まったこと

1万口当たりの費用明細

(2024年5月28日～2025年5月27日)

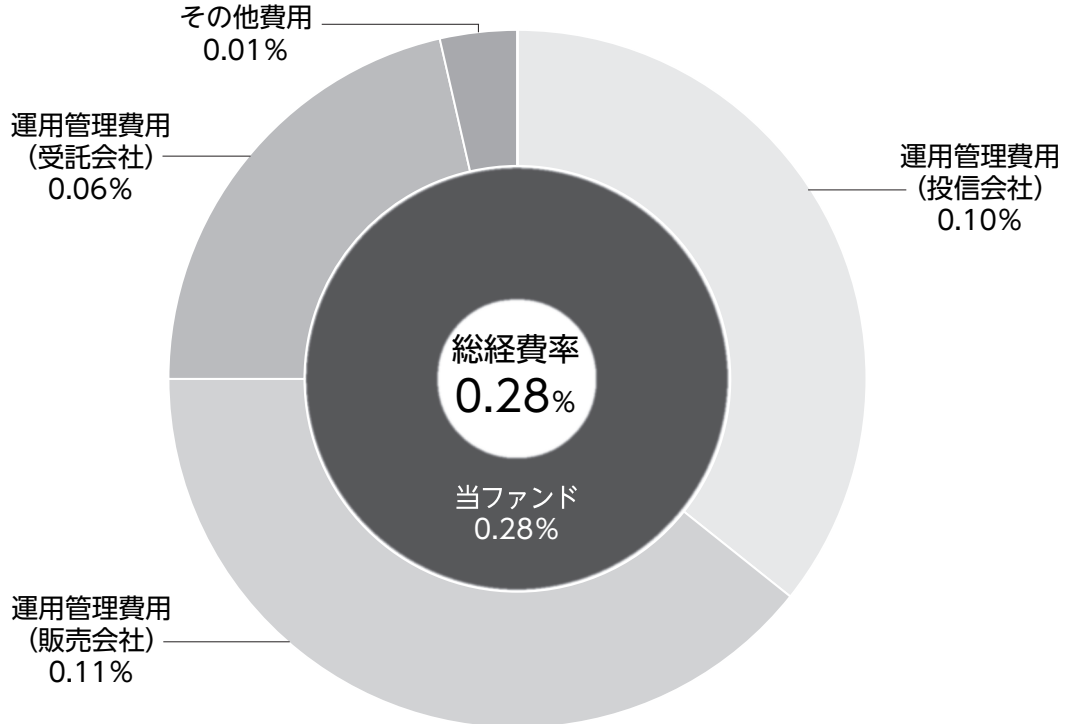
項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	71 円	0.264 %	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(27)	(0.099)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(30)	(0.110)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(15)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	2	0.006	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株 式)	(2)	(0.006)	※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用	2	0.008	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(1)	(0.004)	開示資料等の作成・印刷費用等
(そ の 他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	75	0.278	
期中の平均基準価額は、26,981円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。
(注3) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注4) 売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.28%です。**



(注1) 上記費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2020年5月27日～2025年5月27日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額及びベンチマークは、2020年5月27日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

	2020年5月27日 決算日	2021年5月27日 決算日	2022年5月27日 決算日	2023年5月29日 決算日	2024年5月27日 決算日	2025年5月27日 決算日
基準価額 (円)	13,068	16,784	17,271	20,246	27,390	27,559
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	28.4	2.9	17.2	35.3	0.6
ベンチマーク騰落率 (%)	—	26.0	0.7	14.6	33.1	△ 0.4
純資産総額 (百万円)	6,676	8,899	9,908	12,098	19,132	19,782

(注1) ベンチマークはTOPIX100・インデックス(配当込み)です。詳細はP13をご参照ください。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

投資環境

(2024年5月28日～2025年5月27日)

当期の東証株価指数（TOPIX）は2,760ポイント近辺から始まり、好調な企業業績と為替市場の円安を背景に堅調に推移しました。2024年7月初旬に為替市場で160円まで円安が進み、日本政府は5月に続き再び為替介入を実施、月末の日銀の政策決定会合での利上げ決定により円高に転換し、株式市場も下落基調に転換しました。8月に発表された米国雇用統計の悪化により、米国景気に対する懸念からグローバルでリスクオフの動きが強まり、日本株も大きく下落しました。この動きを受け、パウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長が大幅な利下げを示唆したことで、株価は底入れし、反発しました。その後、一進一退の動きとなりましたが、米国の大統領選挙においてトランプ氏の優位が報道されると、財政拡大政策への期待から円安が進み、株価は上昇基調となりました。11月の選挙でトランプ氏が勝利するとともに、上下院とも共和党が過半数を獲得したことから、新政権への期待で米国株が上昇したことも、日本株の支援材料となり、年末にはTOPIXは2,780ポイント近辺まで上昇しました。年明けには、日銀が金融政策の正常化のもと利上げを実施し円高傾向となったことと、中国のAI企業「ディープシーク」が低コストのAIモデルを発表すると、これまでAI相場を牽引した半導体関連が下落し、上値の重い展開となりました。

2025年2月に入ると、米国のトランプ大統領がメキシコ、カナダ、中国に追加関税を課すとの政策を発表すると、日本株も大きく下落し、その後も関税問題が株価に大きな影響を与える相場展開となりました。4月2日にはトランプ大統領が、相互関税、全世界一律10%、日本に対しては24%と発表すると、世界的なリスクオフの動きが強まり、日本株は大きく下落し、4月7日にTOPIXは2,300ポイント割れとなりました。ただし、その直後に相互関税を90日間停止するなど、トランプ大統領が関税に関して緩和的な姿勢を示すと、日本株は大きくリバウンドし、その後もトランプ大統領の関税問題に関する発言に左右される展開となりましたが、想定以上に堅調な企業業績や自社株買いの動きにより、TOPIXは2,770ポイント近辺で期末を迎えました。

当ファンドのポートフォリオ

(2024年5月28日～2025年5月27日)

<当ファンド>

ベンチマークであるTOPIX100・インデックス（配当込み）に連動する投資成果をめざし、「SBI TOPIX100・インデックス マザーファンド」受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

<SBI TOPIX100・インデックス マザーファンド>

ベンチマークであるTOPIX100・インデックス（配当込み）の動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいりました。インデックスとの乖離を最小限に抑えるべくトラッキングエラーやリスクを管理し、組入比率を高位に維持することなどにより、ほぼベンチマークに近い運用を行いました。

また、株式の組入比率に関しては、97%以上の株式組入比率を維持しました。なお、期末の株式組入比率は98.0%となっております。

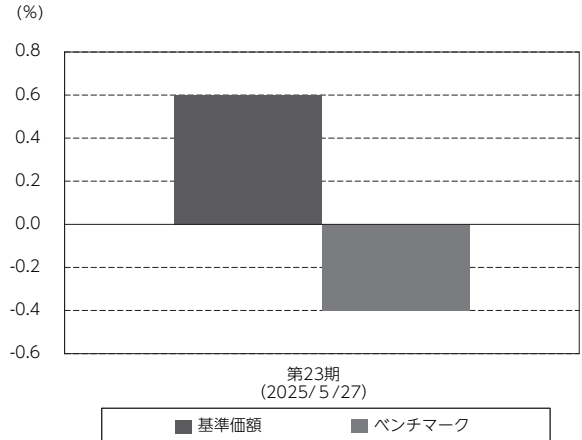
当ファンドのベンチマークとの差異

(2024年5月28日～2025年5月27日)

期中における基準価額は、0.6%の上昇となり、ベンチマークであるTOPIX100・インデックス(配当込み)の騰落率△0.4%を概ね1.0%上回りました。

売買手数料などの諸費用がマイナスに影響した一方で、株式配当金の受取りがプラスに寄与しました。

基準価額とベンチマークの対比(期別騰落率)



(注1) 基準価額の騰落率は分配金(税引き前)込みです。

(注2) ベンチマークはTOPIX100・インデックス(配当込み)です。詳細はP13をご参照ください。

分配金

(2024年5月28日～2025年5月27日)

当期の収益分配は、運用の効率性と基準価額の水準を勘案し見送ることといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第23期
	2024年5月28日～ 2025年5月27日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	— %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	22,515

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<当ファンド>

引き続き「SBI TOPIX100・インデックス マザーファンド」受益証券に投資する方針です。また、現金比率を極力抑え連動率を高めていく所存です。

<SBI TOPIX100・インデックス マザーファンド>

引き続きわが国の株式を中心に投資を行い、TOPIX100・インデックス(配当込み)と連動する投資成果を目標として運用を行います。

ベンチマーク変更に関するお知らせ

<変更内容>

本ファンドで採用するベンチマークを「配当を含まない指数」から「配当込み指数」に変更いたしました。

＜変更後＞	＜変更前＞
TOPIX100・インデックス（ <u>配当込み</u> ）	TOPIX100・インデックス

（変更適用日：2025年2月28日）

<変更理由>

本ファンドの設定時に一般に広く利用されるベンチマークの指数が「配当を含まない指数」であったことを背景として、本ファンドで採用しているベンチマークについても、「配当を含まない」ベンチマークを採用しておりました。

現在においては、「配当込み指数」をベンチマークにしているものが一般的であり、また、ファンドの運用においては保有する資産からの配当を受け取るため、当初、ベンチマークとして採用した「配当を含まない指数」とファンドの運用結果に配当相当分の差が生じてしまいます。

このような状況を鑑み、より実態に即したベンチマークを採用することが顧客本位であると判断し、ベンチマークを変更するため約款変更を行いました。

お知らせ

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。
（変更適用日：2025年4月1日）

<当該約款変更につきまして>

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更され、書面交付またはデジタル交付いずれかを選択できるようになりました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全等、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。

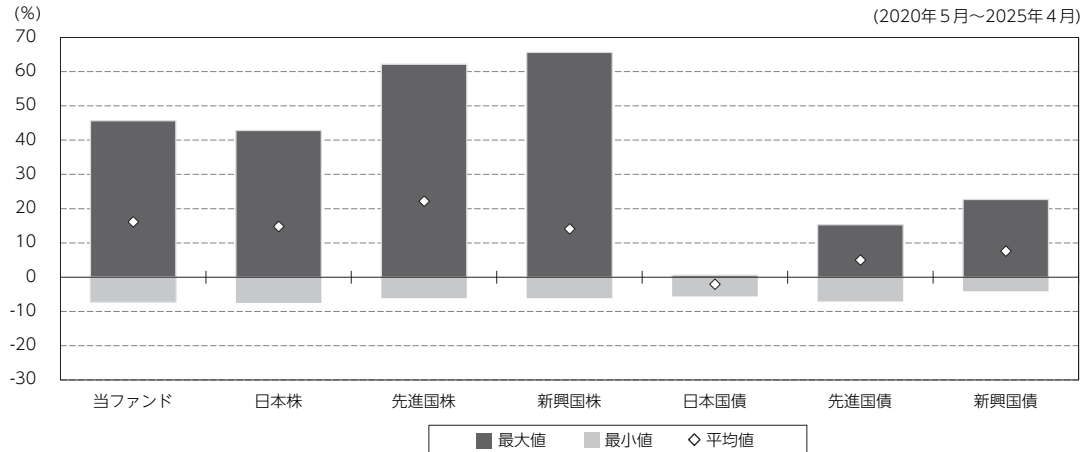
今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供ができるよう整備してまいります。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／国内／株式／インデックス型	
信 託 期 間	原則として無期限（クローズド期間はありません）	
運 用 方 針	確定拠出年金法（2001年法律第88号）に基づく確定拠出年金制度のための専用ファンドとして、TOPIX100・インデックス（配当込み）と連動する投資成果をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当 フ ァ ン ド (ベビーファンド)	SBI TOPIX100・インデックス マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資することもあります。
	マザーファンド	わが国の金融商品取引所上場株式のうち、TOPIX100・インデックス（配当込み）に採用されている銘柄を主要投資対象とします。
運 用 方 法	主として、SBI TOPIX100・インデックス マザーファンド受益証券に投資し、TOPIX100・インデックス（配当込み）と連動する投資成果を目標として運用を行います。	
分 配 方 針	毎決算時に、基準価額水準及び市場動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合等、委託会社の判断により収益分配を行わないこともあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	45.7	42.8	62.2	65.6	0.6	15.3	22.7
最小値	△ 7.3	△ 7.5	△ 6.1	△ 6.1	△ 5.6	△ 7.1	△ 4.1
平均値	16.1	14.8	22.2	14.1	△ 2.1	5.0	7.6

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2020年5月から2025年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注4) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数 (除く日本)

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数 (除く日本)

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

*各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2025年5月27日現在)

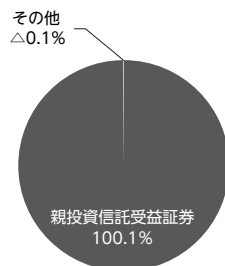
○組入上位ファンド

銘柄名	第23期末
SBI・TOPIX100・インデックス マザーファンド	% 100.1
組入銘柄数	1 銘柄

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

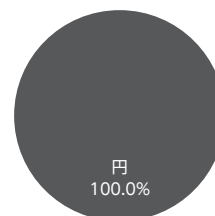
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

純資産等

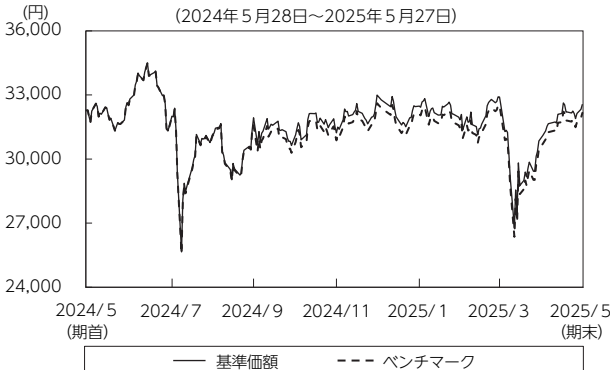
項目	第23期末
	2025年5月27日
純資産総額	19,782,899,913円
受益権総口数	7,178,511,120口
1万口当たり基準価額	27,559円

(注) 期中における追加設定元本額は1,685,281,019円、同解約元本額は1,491,755,032円です。

組入上位ファンドの概要

SBI TOPIX100・インデックス マザーファンド

【基準価額及びベンチマークの推移】



- (注1) ベンチマークはTOPIX100・インデックス（配当込み）です。詳細はP13をご参照ください。
- (注2) ベンチマークは期首（2024年5月27日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

【1万口当たりの費用明細】

(2024年5月28日～2025年5月27日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (株 式)	2 (2)	0.006 (0.006)
合計	2	0.006
期中の平均基準価額は、31,835円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

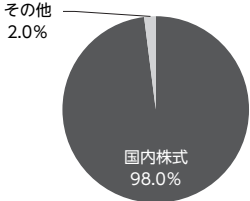
【組入上位ファンド】

(2025年5月27日現在)

	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	トヨタ自動車	輸送用機器	円	日本	5.2
2	ソニーグループ	電気機器	円	日本	4.9
3	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	円	日本	4.7
4	日立製作所	電気機器	円	日本	3.8
5	任天堂	その他製品	円	日本	2.9
6	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	円	日本	2.8
7	リクルートホールディングス	サービス業	円	日本	2.5
8	キーエンス	電気機器	円	日本	2.3
9	三菱重工業	機械	円	日本	2.2
10	三菱商事	卸売業	円	日本	2.1
組入銘柄数			100銘柄		

- (注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。
- (注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しています。
- (注3) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

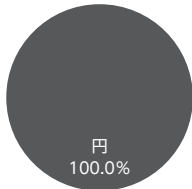
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



- (注1) 基準価額及びベンチマークの推移、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは2025年5月27日現在のものです。
- (注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。
- (注3) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

<当ファンドのベンチマークについて>

○TOPIX100・インデックス（配当込み）

TOPIX100・インデックス（配当込み）は、東京証券取引所の株価指数「TOPIX」の構成銘柄を一定の基準で規模ごとに細分化した時価総額加重型株価指数の一つです。TOPIX100構成銘柄は、TOPIXの構成銘柄の中から、時価総額及び流動性の高い100銘柄で構成される大型株指数のことをいいます。なお、TOPIX100に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

※ベンチマークは2009年3月31日まではニュージャパン・インデックス、2009年4月1日から2025年3月3日まではTOPIX100・インデックス、3月4日以降はTOPIX100・インデックス（配当込み）に変更しております。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

<各指数の概要>

日本株：Morningstar 日本株指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。

先進国株：Morningstar 先進国株指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。

新興国株：Morningstar 新興国株指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。

日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。

先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。

新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

<重要事項>

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はモーニングスター・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与していません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。